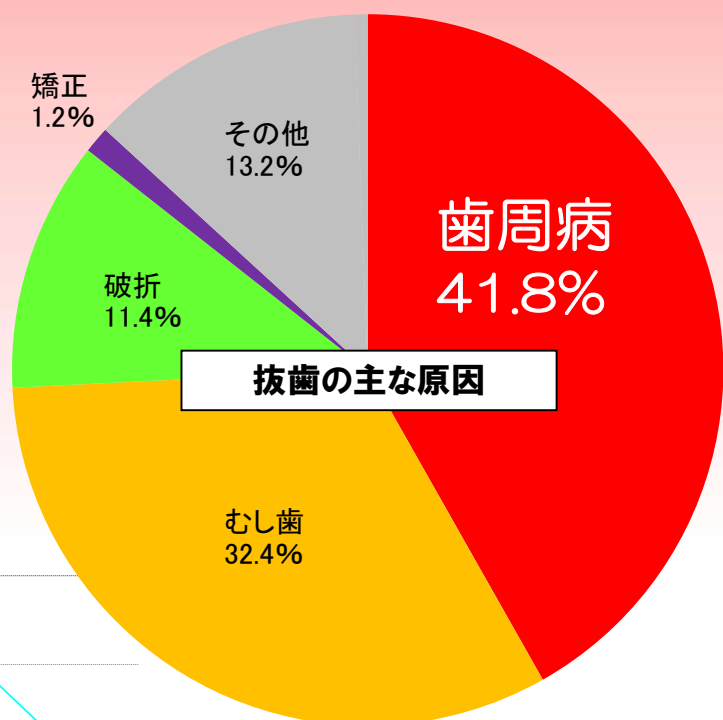


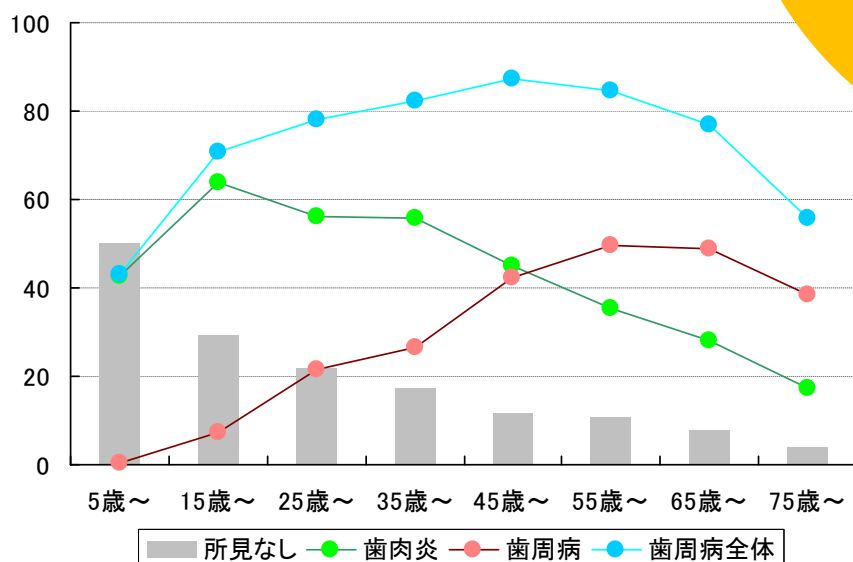
唾液による歯周疾患スクリーニング!!

歯は一度失うと二度と元には戻りません!

歯の喪失の大きな原因は**歯周病**です。
平成17年歯科疾患実態調査(厚生労働省)によると、25才以上のおよそ8割に何らかの異常が認められるという報告があります。
そして、**歯周病は脳血管疾患、心疾患、糖尿病などの全身疾患とも関係がある**と言われています。



年齢別歯周病罹患状況



(厚生労働省 平成17年歯科疾患実態調査より 改変)

歯周疾患検診を受けていますか?

歯周疾患検診は、がん検診と同様に健康増進法によって定められています。

『市町村は40、50、60及び70歳の住民を対象として歯周疾患検診を実施するよう努めること』

最近では、唾液を採って測定するだけの非常に簡単な検査も行われています。

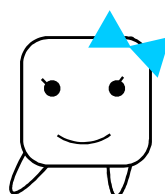
5分間ガムを噛み、コップに唾液を溜めて提出します

まずは検診!

歯周疾患検診を受けましょう!!

医療法人社団 千葉秀心会

東船橋病院



唾液スクリーニング検査

歯周病検診

歯周病検診は、がん検診と同様に健康増進法によって定められており、40、50、60及び70歳の男女を対象として実施されています。

歯周病検診は2通りの方法があります。

CPI

歯周病マニュアルに記載され、現在最も主流な方法はCPI (Community Periodontal Index)です。プローブを歯と歯茎の間に挿し、歯周ポケットの深さを測定します。

唾液スクリーニング検査

唾液中のHbやLDを測定すれば、歯周病のスクリーニング検査が可能であり、リスク判定が行えます。この検査は患者の唾液を測定するだけの簡単な検査なのです！



Hb
(ヘモグロビン) → 歯肉の出血
LD
(乳酸脱水素酵素) → 歯肉の炎症



検査判定例

歯周病リスク		LD検査	
		(-)	(+)
Hb検査	(-)	低リスク 	低～中リスク
	(+)	中～高リスク 	高リスク

「低～中リスク」以上の場合、歯科医院を受診して歯科医師の診断を受けることを推奨します。低リスクの場合でも定期的に検査を受けましょう。

正しい 唾液のとり方

STEP1 ガムを噛んで唾液を出す

コップを十分に開き、約5分間ガムを噛みながら、唾液をコップに出してためる。

唾液の量:コップの底面が浸るくらい

STEP2 2本の容器に唾液を入れる

透明容器 (液体入り)

スポイトを用いて、透明容器に唾液を1滴入れて、キャップをしっかりとめる。

- ① 唾液中にスポイトの先を入れ、真ん中を強くつまむ。
- ② 力を緩めると、唾液がスポイトの先に吸い上がる。
- ③ 再度つまみ、透明容器の中へ1滴入れる。



黄色容器

コップから直接、残りの唾液を黄色容器に半分程度入れて、キャップをしっかりと閉める。

コップの折り目を注ぎ口にして入れる。



STEP3 氏名等を記入し提出用袋に入れる

2枚のラベルに氏名・採取日等を記入し、透明容器と黄色容器に貼る。



提出用袋に氏名を記入し、容器を2本入れてすぐに提出
※提出までは冷蔵で保存

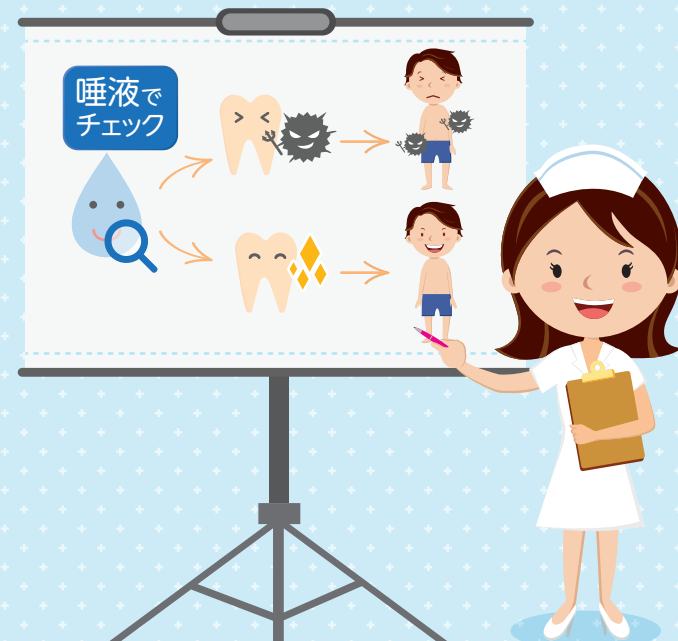


歯周病は

お口の中だけの問題ではなく、全身の健康にも影響を与えます。

歯周病によるリスクを正しく理解し、

唾液で早めの発見、治療を心がけましょう。



唾液を調べる検査は
簡単で痛みがありません

監修

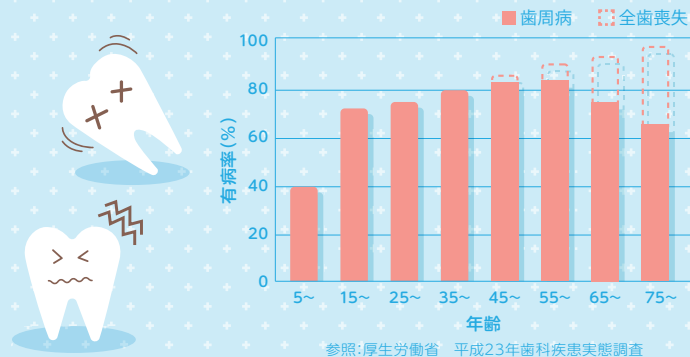
花田 信弘

鶴見大学歯学部探索歯学講座主任教授

歯周病ってどんな病気？

年齢別歯周病有病状況

歯周病は、細菌の感染によって引き起こされる炎症性疾患で、進行すると最終的に歯を失ってしまいます。25才以上のおよそ8割で歯周組織に何らかの症状が認められると言われており、生活習慣病の一つとされています。



当てはまることはありませんか？

歯周病セルフチェック

下記の質問について該当する回答の□にチェック✓を入れて下さい

1. 歯がぐらぐらする。 ☐
2. 歯茎を押すと血や膿が出ることがある。 ☐
3. 歯茎がむずがゆく、歯が浮いた感じがすることがある。 ☐
4. 歯茎が赤く腫れてブヨブヨすることがある。 ☐
5. 固いものがかみにくい。 ☐
6. 口の中が乾く感じがする。 ☐
7. 口臭があると感じる。 ☐

1つでも該当事項があれば、歯周病の可能性あります。
歯科医院でみてもらいましょう。

歯周病と関連のある疾患

血管障害性疾患

動脈硬化症や虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)など。歯周病原細菌の侵襲によって免疫細胞から産生されるサイトカイン※が血栓の形成に関与する可能性がある。

※細胞から分泌されるタンパクの一種で、他の細胞に情報を伝える。



誤嚥性肺炎

歯周病原細菌を含む口腔細菌が唾液を介して肺に入ると発症する場合がある。



糖尿病

歯周炎により生じる炎症因子はインスリン抵抗性を増大させ、糖尿病を悪化させる可能性がある。



関節リウマチ

炎症性サイトカインや炎症因子などの産生亢進が組織破壊に関与していると考えられている。



早産・低体重児出産

中等度以上に進行した歯周炎をもつ母親は、早期低体重児を出産するリスクが高いと報告されている。

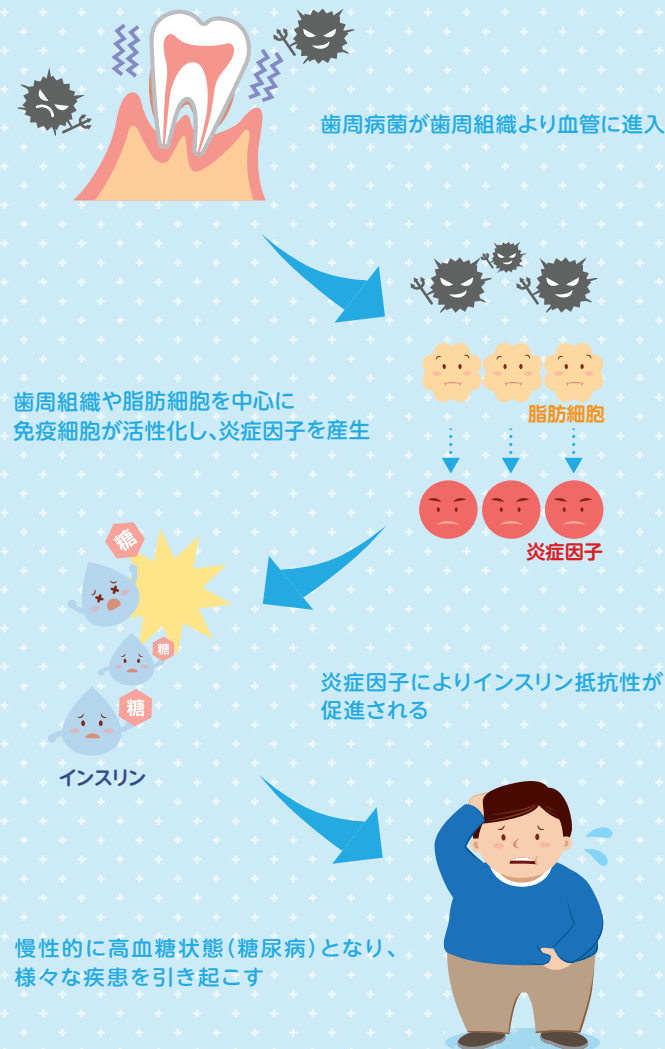


その他の歯周病が影響を与えると報告のある疾患

日常的な菌血症、慢性腎臓病(CKD)、非アルコール性脂肪性肝炎など

歯周病と糖尿病の関係

糖尿病と歯周病の間には双方向の関連性があることが知られており、歯周病は糖尿病の第6番目の合併症とされています。歯周病のコントロールによって、糖尿病の症状が改善するという報告もあり、糖尿病患者に対する歯周病治療の大切さが言われています。



医療法人社団 千葉秀心会

東船橋病院